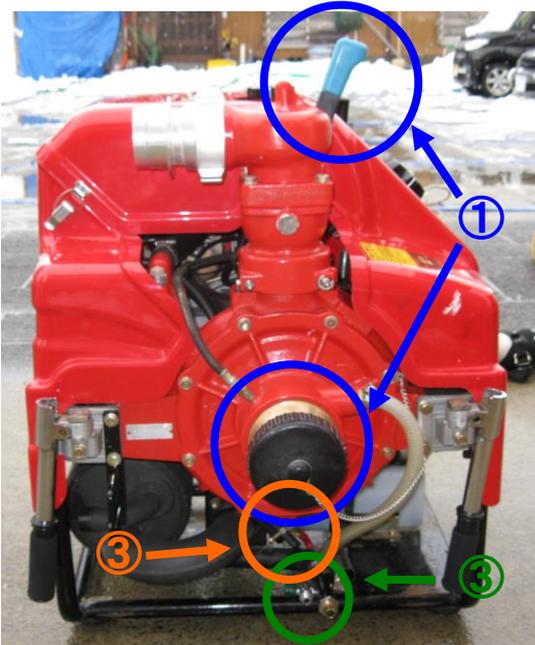


### 【始動前点検】



① 各部のゆるみはないか。



放口レバー



吸管結合部

② 燃料漏れはないか。



オーバーフローパイプ、パイプ取り付け部



③ 各排水バルブは閉じてあるか



ポンプドレンコック



ナイスバルブドレンコック

### 【燃料・オイル等】

④ 適量入っているか



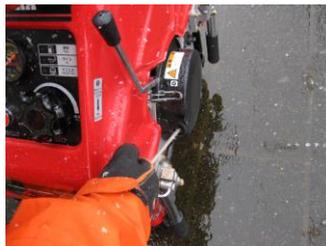
燃料ゲージ



2サイクルエンジンオイル

## 【エンジン始動】

### ⑤ 始動性はいいか



#### \* 留意事項 \*

- ・引きが重くなった位置から一気に引く。
- ・スタータロープの劣化も合わせて点検する。

## 【真空・吸水状況】



### ⑥ 真空レバーの作動はいいか



フロント・リアの  
カバーを取り外す

### ⑦ Vベルトの滑りはないか



### ⑧ ポンプの異常はないか      ⑨ 落水はないか

#### \* 留意事項 \*

- ・真空レバーを真空側に操作したら、必ず放水側に戻すこと。
- ・真空レバーを操作中に異音や煙が上る場合、また、なかなか吸水できない場合は、Vベルト滑りの原因が大きい。



## 【放水状況】



⑩ エンジン異常(異音、振動)はないか

⑪ 筒先ノズルの作動性はいいか



噴霧ノズルの確認

## 【スロットル調整】



⑫ 高速・低速のレスポンスはいいか



⑬ 圧力計の振れはいいか



## 【エンジン停止】



⑭ 放口弁レバーは  
確実に閉まるか



⑮ 各部からの  
水漏れはないか



**\* 留意事項 \***

・吸管結合部からの水漏れは  
パッキン劣化の可能性大。真空形成にも支障をきたす。

## 【完全排水】



⑩ 各部のコック、バルブを開き完全に排水したか



⑩

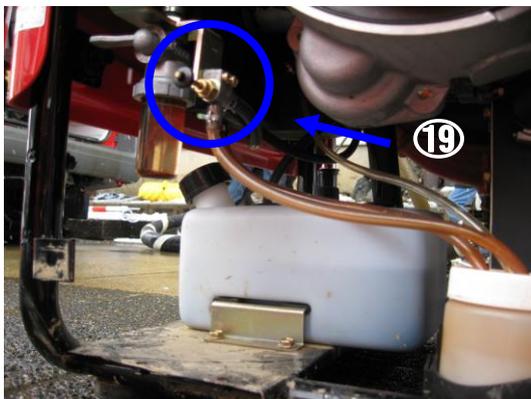
**\* 留意事項 \***

- ・現場引き上げ時に水抜きをしても  
帰庫後の積載車格納時に、再度排水ドレンをする。

## 【格納 - 保管】

⑪ 不凍液の注入をしたか  
(冬期間)

⑫ 燃料を満タンにしたか



⑬

⑬ キャブレタ内の燃料を抜いたか



**\* 留意事項 \***

- ・キャブレタの燃料ドレンは、燃料コックを閉じたのを確認後、行なうこと。

⑭ 吸管ストレーナのゴミ詰まりはないか



《最終点検項目》 ポンプは汚れていないか！？

# シバウラ SF651SZ 不凍液注入方法マニュアル

## 【完全排水】



- ① エンジン停止状態にて、ポンプ、シリンダの排水を完全に行い、吸水口キャップを閉じる。



## 【ポンプへ注入】



②

③

- ② ナイスバルブドレンコックを「閉」のまま付属のホースを結合する
- ③ 不凍液（180～200ml.）の入っている容器にホースを入れる。
- ④ エンジンを始動し、吸水レバーを操作しポンプ内を真空にする。

④

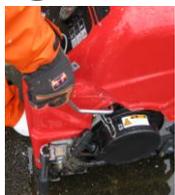
⑤



- ⑤ ナイスバルブのドレンコックを開いて不凍液を吸い込ませる。
- ⑥ 再度吸水レバーを操作し、真空ポンプ排気口から不凍液が出てきたら、吸水レバーを戻す。

④⑥⑧

⑥



⑦

⑧

⑨



- ⑦ ナイスバルブのドレンコックからホースを外す。
- ⑧ 吸水レバーを操作し、真空ポンプ排気口から不凍液が出なくなったらエンジンを止める。
- ⑨ ナイスバルブのドレンコックを閉じる。

## 【真空ポンプへ注入】



- ⑩ 止水弁ドレンパイプ（太いほう）にコネクタでホースをつなぎ、不凍液（180～200mL.）の入っている容器に入れる。
- ⑪ エンジンを始動する。
- ⑫ 吸水レバーを操作し不凍液を吸い込ませる。
- ⑬ 真空ポンプ排気口から不凍液が出てきたら、吸水レバーを戻す。
- ⑭ コネクタを外し、ポンプドレンコックを開く。
- ⑮ 吸水レバーを操作し、真空ポンプ排気口から不凍液が出なくなったらエンジンを止める。
- ⑯ ポンプドレンコックを閉じる

⑩



⑪



⑫ ⑮



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



## 【放口への注入】



- ⑥ 放口弁レバーを閉じ、放口弁の弁部にもオイル差し等で不凍液を注入する。

《最後に》 飛び散った真空ポンプオイルをきれいに拭き取る！！

